



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

【10月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 喫煙・薬物乱用防止
未成年者の喫煙、薬物使用等に対する
防止及び啓発活動の推進
- 2 深夜はいかい・非行防止
駅周辺、コンビニ、遊技場等、少年の
溜まり場の点検及び声かけ（家出、万引
き、飲酒ほか）

思春期は「自分探しの旅」の真っ最中



思春期とは、「体と心が子どもから大人へと劇的に変化する時期」のことを言います。多くの子どもは、小学校高学年から高校生までが思春期に当たり、性ホルモンが活発に分泌されるようになり、第二次性徴と呼ばれる体の急激な変化が起こります。また、自我が芽生え、「自分はどんな人間なのだろう」というような自分への問いかけを通して、自分らしい生き方を模索する時期でもあります。このようなことから、思春期は大人になる過程で「誰にでも必ず一度訪れる時期」と言えます。

自分らしい生き方を模索する中で、子どもたちは様々な葛藤に出会い、思い悩みます。その結果、「いつもイライラして『うざい』『だるい』と言う」「大人の言うことを聞かなくなる」「親と話さなくなる」といった態度を示すようになります。この時期を「第二次反抗期」と呼びます。（第一次反抗期は、2歳前後のいわゆる「イヤイヤ期」と呼ばれる時期です。）

「第二次反抗期」に見られる態度には、「乱暴な言動が増える」「部屋にこもりがちになる」「外見をととても気にする」などもあります。親からすれば理不尽とも言える態度ですが、親は「子どもが『自

分探しの旅』の真っ最中」であることを理解して対応することが大切であると考えます。その対応とはどのようなものなのでしょう。「第二次反抗期がなかったという子どもがいる」という事実から考えてみたいと思います。

2016年、明治安田生活福祉研究所が行った「親子の関係についての意識と実態」という調査では、「反抗期がなかった」と答えた子どもが、男子で42.6%、女子で35.6%という結果が出ています。

その理由は、二つ考えられます。一つ目は「反抗したくても、親のコントロールや押さえつける力が強かった」からです。この場合、社会に出たとき何らかの困難が生じる可能性があります。二つ目は「子どもが親に対して反抗する必要がなかった」からです。例えば、「そういう考え方もあるかもしれないね。私は〇〇と思うけど、どう思う？」といった対応はどうでしょうか。子どもの話に耳を傾け、共感的に受け止めることで、子どもは一人の人間として認められていると感じるのではないのでしょうか。

それでも、親からすれば思春期の「自分探しの旅」は危なっかしいもの。親は、かつてその旅に出掛けた経験者として、揺れ動く子どもの心を受け止め、共に生きる者として子どもと向き合いたいものです。

秋の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動 強調期間（10月15日～11月30日）



本市では、次代の鹿児島市を担う子どもたちを関係機関・団体が一体となって、市民総ぐるみで、心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成することを目的に、四季ごとにテーマを定め、運動を積極的に展開しています。

11月は、国の「子ども・若者育成支援強調月間」であり、県は「郷土に学び・育む青少年運動強調月間」を設定し運動の推進を図っています。

本市では、これらの運動と連動して、「秋の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動強調期間」を定め、青少年健全育成の諸事業を意図的に実施し、市民一人一人が、青少年の健全育成について理解を深め、心豊かで元気な「さつまっ子」を育成することを目指しています。

1 テーマ

「育てよう 若い芽を 家庭 学校 地域 職場で」

2 実践重点事項

- (1) 豊かな心を育む家庭の教育力の向上
- (2) 「あいさつ運動」に取り組み、心の教育の推進
- (3) 青少年の主体的な地域活動や団体活動の促進
- (4) 青少年を守りはぐくむ環境づくりの促進
- (5) 関係機関、団体相互の緊密な連携
- (6) 生徒指導・生活指導の充実
- (7) 交通事故防止の推進

- 1 名称 「令和5年度さつまっ子育成市民大会」
- 2 趣旨
市内の子どもや学校・PTA・青少年育成団体関係者が一堂に会し、学校や地域での実践活動の成果等とおして、市民総ぐるみで明日の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成する機会とする。
- 3 日時
令和5年11月18日（土） 10:00～12:00
- 4 会場
川商ホール（市民文化ホール）第2ホール
- 5 内容
(1) オープニング（岩戸疱瘡踊り）
(2) 開会行事
(3) 実践発表1
ア 学校発表（鹿児島商業高校）
イ レクリエーションタイム
(4) 市民あいさつ運動推進標語表彰式
(5) 休憩
(6) 実践発表2
ア あいご子ども会発表（宮校区）
イ 講話（鶴のカヌーガイド、日本SUP協会ベテリックインストラクター 白畑 瞬さん）
(7) 閉会行事